

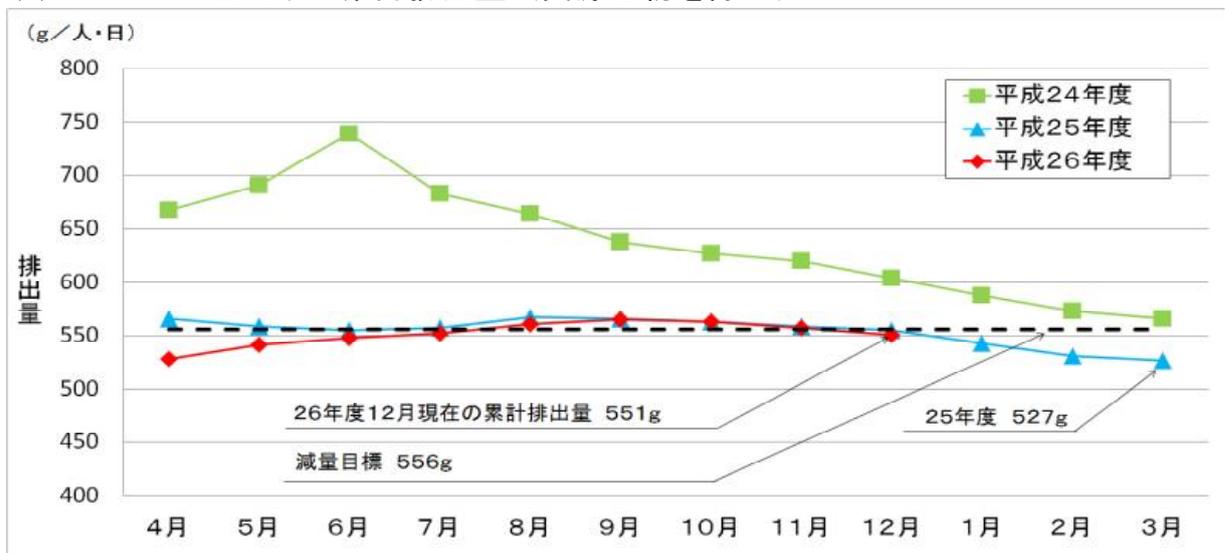
家庭系ごみの排出状況と減量の取組について

1 市民一人1日当たりの月別累計排出量（資源化物を除く）

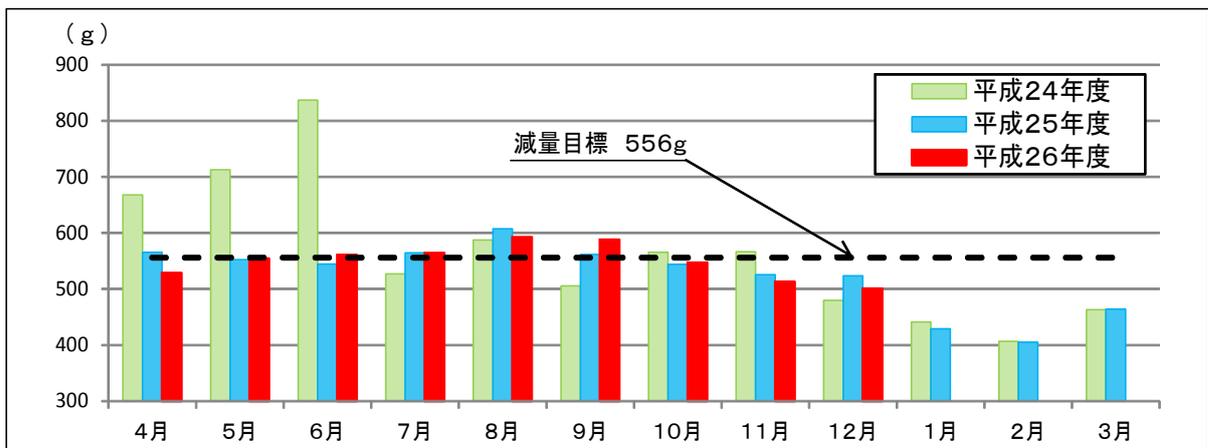
今年度12月末までの累計排出量は、551グラムで、昨年度同時期の555グラムと比較すると4グラム（0.7%）減量し、家庭ごみの有料化による減量効果は維持されております。

引き続き、生ごみの水切りや、雑がみ分別の徹底を呼びかけるとともに、これまでよりもワンサイズ小さいゴミ袋で間に合うよう、ごみを減らすための取組を進めてまいります。

(1) 一人1日当たりの累計排出量（資源化物を除く）



(2) 一人1日当たりの月別排出量（資源化物を除く）



(単位：g)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
平成24年度	668	713	837	527	588	506	566	567	480	442	407	464	566
平成25年度	566	552	545	565	608	562	544	526	524	429	406	464	527
平成26年度	528	554	561	564	592	588	547	513	501				

2 ごみ減量啓発活動の実績

これまでのごみ減量啓発活動に加えて、新たににぎわい交流館を拠点として「ごみ減量アクション」を開催し、季節に合わせたごみ減量の工夫や、使い捨てではなく物を大事に扱いごみの発生抑制につながる「もったいない精神」を取り入れた内容を啓発しております。また、他部局主催イベント等と連携し、啓発機会が少なかった世代をターゲットにキャンペーンを行っております。

今年度12月末現在の実績は95回、7,431人です。

種別	対象	回数/人数	内容等
ごみ減量アクション	全 般	3 回 649 人	3 R 体験講座 (マイバッグづくり、包丁研ぎ講座、洋服や革製品の手入れ方法、 不用なものでアクセサリ作成 等) ごみ減量情報パネル展示 アンケートとごみ減量グッズ抽選会
ごみ減量説明会	高齢者 小学生	35 回 1,123 人	町内会へのごみ減量・分別説明 婦人会へのマイバッグ・風呂敷講座 小学生への雑がみ分別・3 R 行動説明
ごみ減量キャンペーン	若年層 就労者	57 回 5,659 人	子育て関係、国際交流、男女共生、 事業者主催（青年会議所、フォーラス、 仲小路振興会 等）での啓発

※ 3 R（リデュース＝ごみを出さない、リユース＝くり返し使う、リサイクル＝再利用する）

3 「もったいないアクション」の取組

我が国では、食品廃棄物のうち本来食べられるのに捨てられている量が年間500～800万トン発生しており、日本の米の生産量に匹敵する量です。本市では 食品廃棄物の削減を目的とした「もったいないアクション」の協力を呼びかけております。

(1) 宴会等の食べ残しを減らす取組

宴会の一定時間を「食う～べえタイム」とし、自分の席で料理を食べていただく取組

(2) 料理の「食べきり」を啓発する取組

家庭では料理を作り過ぎないことや、出された料理を食べきる心がけを啓発

(3) 協力事業者等

・ホテル等 18か所

秋田キャッスルホテル、秋田ビューホテル、ホテルメトロポリタン秋田、イヤタカ 等

・スーパー等 46か所

イオン、マックスバリュ、いとく、マルダイ、ナイス、グランマート、@403 等

・その他 64か所

秋田県庁、秋田銀行、北都銀行、ノースアジア大学、JA 等

※ これから送別会等が多くなる時期ですので、上記取組にご協力くださようお願いいたします。



立て札（宴会時テーブルに配置）



PRポスター